

**ヘッドエンド装置内蔵用
OFDM TVシグナルプロセッサ**

品番 CPA - 8001 (JIS)
CPA - 8101 (EIA)

取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびは、D X アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この装置を正しく理解し、ご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

安全上のご注意

	記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることをつげるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⓪ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。



- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っ張ったりしないでください。火災や感電の原因となります。
電源コードが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店や工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- この製品のヒューズは、同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。
感電の原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が怪傷を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品を暖房機の付近や高温になる場所に置かないでください。
火災や破損の原因となることがあります。



- この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災や感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。
お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



<販売店・工事店様の安全上のご注意 - お客様もお読みください>



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使わないでください。
火災や感電の原因となります。



- この製品の電源プラグは3ピンプラグです。必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに挿入してください。



- この製品は屋内専用です。屋外で使ったり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使わないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品を暖房機や加湿器のそばなど高温になる場所、湯気が当たるような場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



- この製品のヒューズは、同一規格の容量および形状のものを御使用ください。また交換の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。



- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



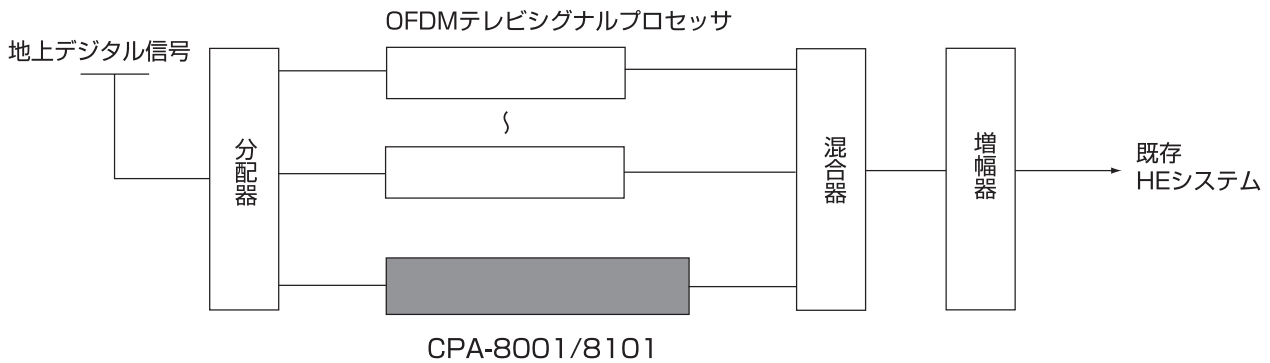
目 次

1. 製品概要.....	1
2. システム例.....	1
3. 特長.....	1
4. 使用上の注意.....	1
5. 各部の名称.....	2
5.1. 前面パネル.....	2
5.2. 背面パネル.....	4
5.3. 外部制御操作の説明.....	5
5.3.1 操作コマンド.....	5
5.3.2 ステータスコマンド.....	7
6. 付 属 品.....	9
7. 規格とブロックダイアグラム.....	10
7.1. 規格.....	10
7.2. ブロックダイアグラム.....	11
8. 外観図.....	12
8.1. CPA - 8001 (J I S).....	12
8.2. CPA - 8101 (E I A).....	13
9. 参考 (O F D M信号レベルの測定).....	14

1. 製品概要

この製品は、OFDM方式の地上デジタル放送波信号の任意の1波を受信し、不要信号の除去、AGC増幅、出力レベル調整を行い任意のチャンネル1波に変換する再送信装置です。
帯域外減衰量、グループディレイ特性が優れており、隣接チャンネル伝送に対応可能で、有線テレビジョン放送の伝送路に高品位、高安定な信号を供給することができます。

2. システム例



3. 特長

- (1) 入出力チャンネル共に任意の1波を設定することができるため、あらゆる入出力チャンネルに対応できます。
- (2) RS-232Cにより入出力チャンネルの変更、RF出力のON/OFF、制御モード（外部制御または前面パネル制御）の切り換えができます。
- (3) 専用SAWフィルタを使用することにより、帯域外減衰量、群遅延特性が優れており、隣接チャンネル伝送に対応できます。
- (4) 局発に水晶発振器を使用することにより、位相雑音による搬送波C/N比の劣化（等価C/N劣化）を最小に抑えています。
- (5) AGC回路内蔵により高安定な信号を供給することができます。
- (6) ラックパネルはJIS・EIA規格を採用しています。

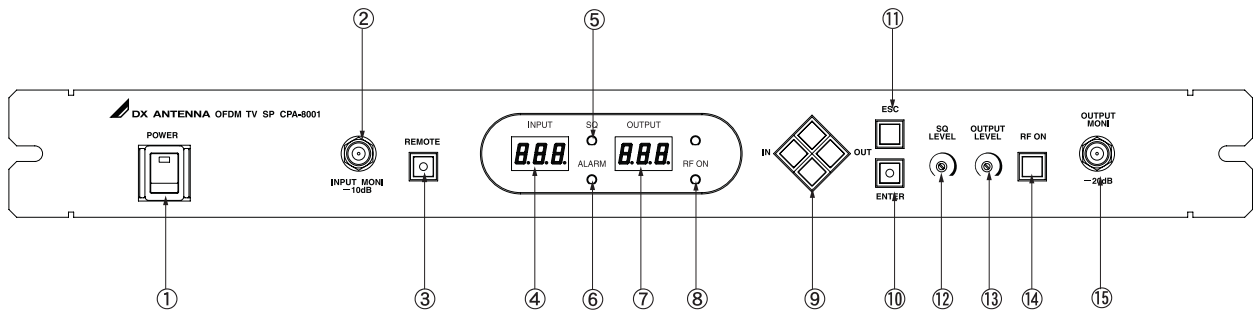
4. 使用上の注意

- (1) この製品は、AC100Vrmsの単相電源でご使用ください。またこの製品は、アースラインのある3線式電源コードを通して接地します。電源プラグは必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントへ挿入してください。
- (2) ヒューズは同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また交換の際には必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- (3) 電源スイッチをON状態としても電源パイロットランプが点灯しない場合は、背面AC100V用3ピンコネクタの未挿入、またはヒューズの断線が生じていることが考えられますので、コネクタ・ヒューズの確認をお願いします。

この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

5. 各部の名称

5.1. 前面パネル



電源スイッチ〔POWER〕

この製品の電源をオン / オフするスイッチです。電源が入ると緑色のLEDが点灯します。

入力モニタ端子〔INPUT MONI -10dB〕(F形)

背面のRF入力端子より入力された信号に対し - 10 dB で出力されるモニタ端子です。使用しないときは、付属の終端器を取り付けてください。

リモートスイッチ〔REMOTE〕

この製品の操作をパネルにするか外部操作にするか切り換えるためのスイッチです。外部操作のモードにすると緑色のLEDが点灯し、REMOTEキー以外のパネル面からのキー入力が無効となります。パネル操作に戻す時は3秒以上長押しすると解除されます。パネル操作のモードでは外部からの操作は無効となります。(操作モード切り換えのためのコマンドは除く)

入力チャンネル表示部〔INPUT〕

入力チャンネルを表示します。初回電源投入時は13chに設定されており、以降の電源投入時は前回のチャンネルを保持するようになっています。

スケルチ動作ランプ〔SQ〕

スケルチが動作すると緑色のLEDが点灯し、RF出力が遮断されます。この時にはRF出力をオンすることはできません。入力レベルが回復すると復帰します。

アラームランプ〔ALARM〕

内部ローカルアンロック時、RF出力低下時、ファン停止時に赤色LEDが点灯します。内部ローカルアンロック時には赤色LEDが点灯するとともにRF出力が遮断されます。この時、RF出力をオンすることはできません。RF出力低下時、ファン停止時は赤色LEDが点灯するだけでRF出力は遮断されません。

出力チャンネル表示部〔OUTPUT〕

出力チャンネルを表示します。初回電源投入時は13chに設定されており、以降の電源投入時は前回のチャンネルを保持するようになっています。

RF出力ランプ〔RF ON〕

RF出力オンの時はLEDが緑色に点灯し、オフの時には赤色に点灯します。初回電源投入時はRF出力オフに設定されており、以降の電源投入時は前回のRF出力の状態を保持するようになっています。

入出力チャンネル操作ボタン〔IN/OUT〕

入出力チャンネルを変えるためのキーです。左側(IN)が入力チャンネル操作時に押すキーで、右側(OUT)が出力チャンネル操作時に押すキーです。

それぞれキーを押すたびに1桁→10桁→C表示(CATVチャンネル)→1桁→・・・と桁が移動します。操作したい桁をあわせてから上下キーを押すことで数字を変えることができます。チャンネル操作中は現在の設定を維持していますので、ENTERを押すまでは変更されません。

チャンネル確定ボタン〔ENTER〕

チャンネルを変更し、最後にこのキーを押すことで確定します。ENTERを押してから約2秒後に設定したチャンネルに変更されます。なおチャンネルを変更してから約30秒このキーを操作しないと元の設定に戻ります。

キャンセルボタン〔ESC〕

チャンネル変更時、このキーを押すとキャンセルされて前の状態に戻ることができます。

スケルチ調整ボリューム〔SQ LEVEL〕

スケルチ動作レベルを設定するためのボリュームです。

出力調整ボリューム〔OUTPUT LEVEL〕

RF出力レベルを設定するためのボリュームです。

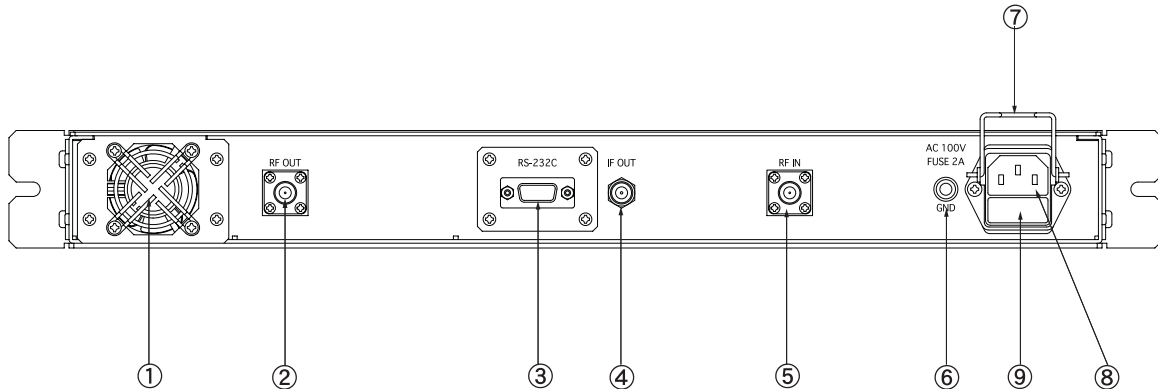
RF出力切換ボタン〔RF ON〕

RF出力のオン/オフを切り換えるキーです。オンからオフにしたい時には3秒以上長押しするとオフにできます。オフの状態チャンネルを変更するとRF出力はオフを維持します。

出力モニタ端子〔OUTPUT MONI -20dB〕(F 形)

背面のRF出力端子から出力されるレベルに対し - 20 dB で出力されるモニタ端子です。使用しないときは、付属の終端器を取り付けてください。

5.2. 背面パネル



ファン

本体内部を冷却するためのファンです。故障の原因となりますので、吹き出し口を塞いだり、異物を入れたりしないようにしてください。ファンが停止した場合には速やかにファンを交換してください。異常がない場合にもファンは5年ごとの交換をお奨めします。

RF出力端子〔RF OUT〕(F形)

この製品のRF出力端子です。

RS-232Cコネクタ〔RS-232C〕

この製品を外部より操作するためのコネクタです。操作方法、コマンド等は別項の外部制御操作の説明をご参照ください。

IF出力端子〔IF OUT〕(F形)

この製品のIF出力端子です。44MHz - 1 / 7MHzの周波数にて出力されます。
(工場出荷時は終端器が装着されています。)

RF入力端子〔RF IN〕(F形)

この製品のRF入力端子です。定格レベル内のOFDM信号を入力してください。

アース端子〔GND〕

この製品の接地用端子です。安全のために必ず接続してください。

ACインレットロック金具

付属の電源コードを固定することができ、不用意に抜けることを防止できます。

AC100V入力端子

AC100Vの入力端子です。付属の電源コードを使用して、保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに接続してください。

ヒューズ

同一規格の容量および形状のものを使用してください。規定以外のものを使用すると故障の原因になることがあります。また交換の際には、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

5.3. 外部制御操作の説明

この製品は背面の R S - 2 3 2 C コネクタより設定操作を行う、あるいはステータスを受けることができます。外部制御はモードが外部操作（パネル面 R E M O T E キーの L E D が点灯）の時のみ使用できます。通信レートは 9 6 0 0 b p s 固定ですので、コントロールする機器の通信速度を 9 6 0 0 b p s に合わせてください。

コマンドは送信すると応答が返るように作られています。コマンド以外のものを送信すると N G _ C O M M A N D が返されます。

なお、外部操作のモード以外ではコマンドを受け付けませんので、前面パネルのリモートスイッチで外部操作のモードに切り換えるか、外部操作のモードへ切り換えるコマンドを送信しモードを切り換えてから各操作を行なってください。

5.3.1 操作コマンド

操作できる項目は以下のとおりです。（_はスペースを表します）

	操作項目	送信コマンド	応答コマンド
	本体操作 / 外部操作の切り換え	CONTROL_ON CONTROL_OFF	REMOTE LOCAL
	入力チャンネルの変更	CHIN_XXX	IN_XXXCH_OK
	出力チャンネルの変更	CHOUT_XXX	OUT_XXXCH_OK
	出力のオン / オフ	RF_ON RF_OFF	RF_ON_OK RF_OFF_OK

本体操作 / 外部操作の切り換え

本体パネルでの操作か、外部より操作するかをモードを切り換えるコマンドです。外部操作モードではパネル面の操作を無効にすることができます。また、パネルでの操作モードでは本コマンド以外の外部操作コマンドを受け付けません。

操作モードの切り換えには以下のコマンドを送信します。（_はスペースを表します）

CONTROL_ON （ 外部操作を行う場合 ）
CONTROL_OFF （ パネル面での操作を行う場合 ）

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。

REMOTE （ 外部操作にした場合 ）
LOCAL （ パネル面の操作にした場合 ）

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

入力チャンネルの変更

入力のチャンネルを変更するためには以下のコマンドを送信します。（_はスペースを表します）

CHIN_XXX

XXX はチャンネルを表します。例えば 13CH では以下のように送信します。

CHIN_13

CATV チャンネルの場合には「C」を付けます。例えば C63CH は以下のように送信します。

CHIN_C63

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。XXX はチャンネルを表します。

IN_XXXCH_OK

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

出力チャンネルの変更

入力チャンネルを変更するためには以下のコマンドを使用します。(_はスペースを表します)

CHOUT_XXX

XXX はチャンネルを表します。例えば 13CH では以下のように送信します。

CHOUT_13

CATV チャンネルの場合には「C」を付けます。例えば C63CH は以下のように送信します。

CHOUT_C63

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。XXX はチャンネルを表します。

OUT_XXXCH_OK

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

出力のオン/オフ

出力をオンまたはオフする場合には以下のコマンドを送信します。(_はスペースを表します)

RF_ON (RF 出力をオンする場合)

RF_OFF (RF 出力をオフする場合)

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。

RF_ON_OK (RF 出力をオンした場合)

RF_OFF_OK (RF 出力をオフした場合)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

5.3.2 ステータスコマンド

この製品のステータスを外部から取り込むことができます。取り込めるステータスは以下のとおりです。
 (_はスペースを表します)
 ただし、操作モードが LOCAL の場合は取り込むことができませんので、外部操作のモードへ切り換えてください。

	ステータス項目	送信コマンド	応答コマンド
	RF 出力の状態	RF?	RF_ON RF_OFF
	操作モードの状態 (パネル / 外部)	CONTROL?	REMOTE LOCAL
	SQ 検出	SQ?	SQ NO_SQ
	アラームの状態	ALARM?	LOCK/UNLOCK FAN_OK/FAN_NG LEVEL_OK/LEVEL_NG 上記 3 項目を並べて出力
	設定の状態	SET?	CHIN_XXX CHOUT_XXX AGC SQ/NO_SQ LOCK/UNLOCK FAN_OK/FAN_NG LEVEL_OK/LEVEL_NG 上記 7 項目を並べて出力

RF 出力の状態

出力がオンかオフかを取り込むことができます。コマンドは以下のように送信します。

RF?

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。(_はスペースを表します)

RF_ON (出力がオンであった場合)
 RF_OFF (出力がオフであった場合)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

操作モードの状態

操作モード (パネル / 外部) の状態を取り込むことができます。コマンドは以下のように送信します。

CONTROL?

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。

REMOTE (外部操作の場合)
 LOCAL (パネルでの操作の場合)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

SQの検出

スケルチ動作の状態を取り込むことができます。コマンドは以下のように送信します。

SQ?

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。(_はスペースを表します)

SQ	(スケルチが動作している場合)
NO_SQ	(スケルチが動作していない場合)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

アラームの状態

アラームの状態を取り込むことができます。コマンドは以下のように送信します。

ALARM?

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。(_はスペースを表します)

LOCK,FAN_OK,LEVEL_OK

ここでの応答は左からローカルの状態、ファンの状態、出力レベルの状態を組み合わせで表します。例えば、ローカルがアンロックでファンが正常動作、出力レベルが低下すると以下のような応答が返ります。

UNLOCK,FAN_OK,LEVEL_NG

それぞれの応答は以下のように返されます。

(1) ローカルの状態

LOCK	(ローカルが正常な時)
UNLOCK	(ローカルがアンロックの時)

(2) ファンの状態

FAN_OK	(ファンが正常動作のとき)
FAN_NG	(ファンが停止した時)

(3) 出力レベルの状態

LEVEL_OK	(出力レベルが正常な時)
LEVEL_NG	(出力レベルが低下した時)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

設定の状態

設定されている入出力チャンネルやスケルチの状態、アラームの状態を取り込むことができます。

コマンドは以下のように送信します。

SET?

コマンドを受けるとこの製品は以下の応答を返します。XXX はチャンネルを表します。(_はスペースを表します)

CHIN_XXX,CHOUT_XXX,AGC,NO_SQ,LOCK,FAN_OK,LEVEL_OK

ここでの応答は左から設定入力チャンネル、設定出力チャンネル、A G C 動作の状態、スケルチの状態、ローカルの状態、ファンの状態、出力レベルの状態を組み合わせで表します。例えば、入力チャンネルが 13CH で出力チャンネルが C59CH、ローカルがアンロックでスケルチが動作し、出力レベルが低下すると以下のような応答が返ります。

CHIN_13,CHOUT_C59,AGC,SQ,UNLOCK,FAN_OK,LEVEL_NG

それぞれの応答は以下のように返されます。

(1) 設定入力チャンネル

CHIN_13 (13CH に設定されていた場合)
CHIN_C59 (C59CH に設定されていた場合)

(2) 設定出力チャンネル

CHOUT_13 (13CH に設定されていた場合)
CHOUT_C59 (C59CH に設定されていた場合)

(3) AGC 動作

AGC (AGC 動作を行っている場合)

この製品は通常 A G C 動作を行なっていますので、本コマンドでは A G C を返します。

(4) スケルチの状態

SQ (スケルチが動作している場合)
NO_SQ (スケルチが動作していない場合)

(5) ローカルの状態

LOCK (ローカルが正常な時)
UNLOCK (ローカルがアンロックの時)

(6) ファンの状態

FAN_OK (ファンが正常動作のとき)
FAN_NG (ファンが停止した時)

(7) 出力レベルの状態

LEVEL_OK (出力レベルが正常な時)
LEVEL_NG (出力レベルが低下した時)

正常に受けられなかった場合は応答がありませんので、再度コマンドを送信してください。

6. 付 属 品

電源コード (長さ 2 m) 1
ヒューズ (125V 2A) 2
モニタ端子用終端器 (75Ω F 形) 2
F - 5 S N 接栓 (リング付) 2
(+) 丸皿ネジ 2 (4)
ローゼットワッシャ 2 (4)
() 値は EIA 仕様です。

7. 規格とブロックダイアグラム

7.1. 規格

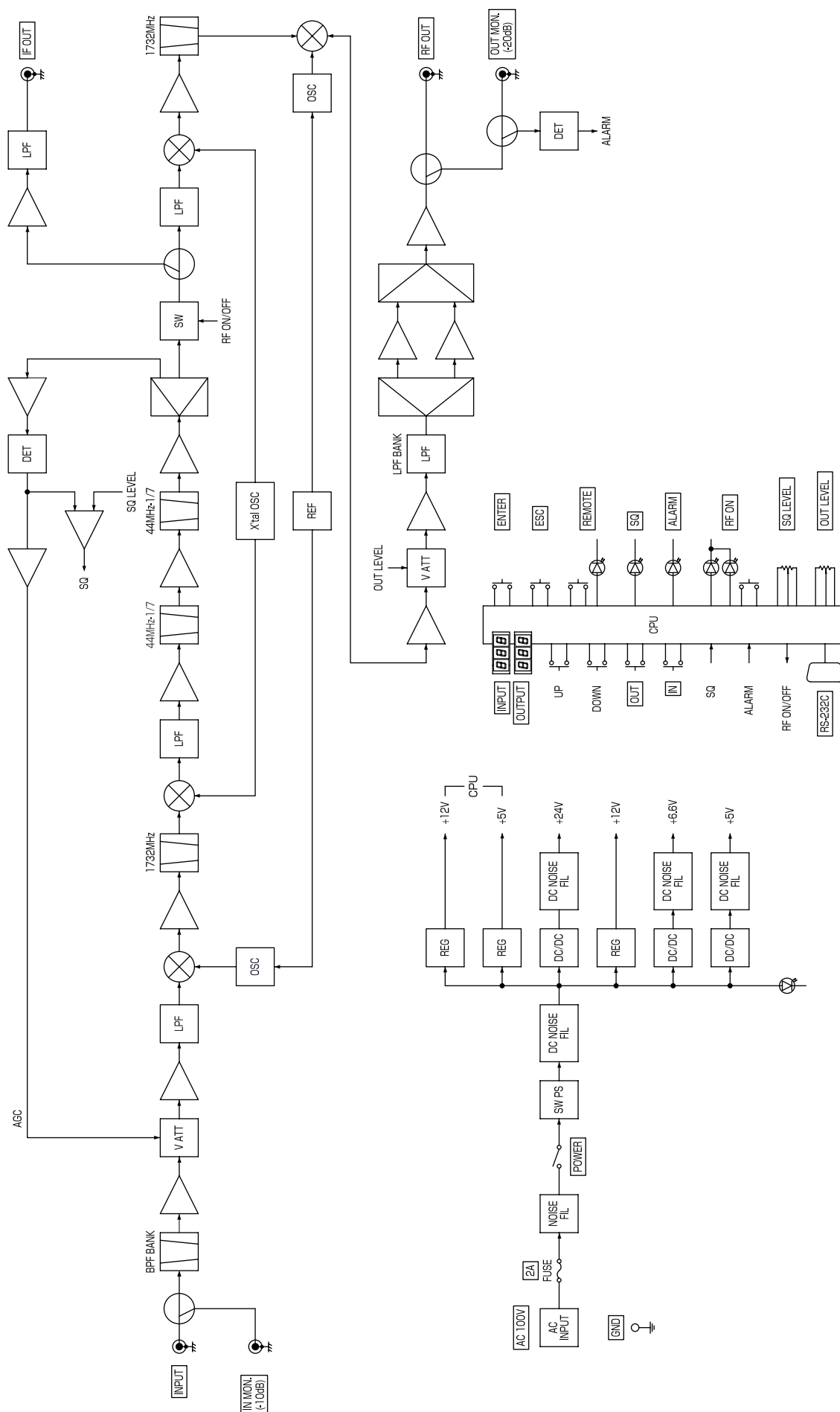
項 目 (単位)	性 能	備 考
入 力 信 号	O F D M	
使 用 周 波 数 (MHz)	90 ~ 770	
入 力 チ ャ ン ネ ル	90 ~ 770MHz 帯域内の任意の 1 チャンネル	
入力信号レベル範囲 (dB μ V)	60 ~ 80 (70 標準)	注 1)
出 力 チ ャ ン ネ ル	90 ~ 770MHz 帯域内の任意の 1 チャンネル	
定 格 出 力 レ ベ ル (dB μ V)	114	
出力レベル可変範囲 (dB)	0 ~ - 10 以上 連続可変	
A G C 特 性 (dB)	± 1 以内 (平均値型)	70dB μ V 基準 定格入力範囲にて
スペクトラムマスク (dB)	- 20 以下 ($f_c \pm 2.86$ MHz) - 27 以下 ($f_c \pm 3.00$ MHz) - 50 以下 ($f_c \pm 4.95$ MHz) - 50 以下 ($f_c \pm 9.00$ MHz)	O F D M 信号の歪成分のみに適用し、スプリアスは対象としない。
帯 域 外 雑 音 指 数 (dB)	- 50 以下 ($f_c \pm 15$ MHz) - 60 以下 ($f_c - 21$ MHz 以下、 $f_c + 21$ MHz 以上)	
I F 周 波 数 (MHz)	44 - 1/7	
I F 出 力 レ ベ ル (dB μ V)	95 $\pm$ 2 以内	
イ メ ー ジ 妨 害 (dB)	- 60 以下	
ス プ リ ア ス (dB)	平均レベルに対して - 60 以下	サイドバンドリガロースを除く
帯 域 内 周 波 数 特 性 (dBp-p)	2 以内	$f_c \pm 2.79$ MHz
グループディレー特性 (ns)	± 200 以内	$f_c \pm 2.79$ MHz
出 力 周 波 数 偏 差 (kHz)	± 10 以内	注 2)
標準スケルチレベル (dB μ V)	40 ~ 55 以下で動作	
入出力リターンロス (dB)	14 以上	
入出力インピーダンス (Ω)	75	F 形
入 力 モ ニ タ (dB)	- 10 $\pm$ 1 以内	F 形
出 力 モ ニ タ (dB)	- 20 $\pm$ 1 以内	F 形
ア ラ ー ム 出 力	スケルチ動作、R F 出力レベル低下、ローカルアンロック、ファン停止時	RS-232C にてステータス発出
電 源 電 圧 (V)	A C 100 $\pm$ 10% 以内	50/60Hz
消 費 電 力 (W)	47 以下	
(VA)	75 以下	
使 用 温 度 範 囲 ()	0 ~ + 40	
外形寸法(H) $\times$ (W) $\times$ (D) (mm)	49(88) $\times$ 480(482.6) $\times$ 450	()内は EIA 仕様
質 量 (kg)	7.0(7.5) 以下	()内は EIA 仕様

注 1) 希望チャンネルに対する他のチャンネルのレベルが +10dB 以下であること。他チャンネルのレベルが +10dB 以上のときはフィルタ等で減衰させ +10dB 以下にすること。

注 2) 入出力同一チャンネルの場合は入力チャンネルに同期する。

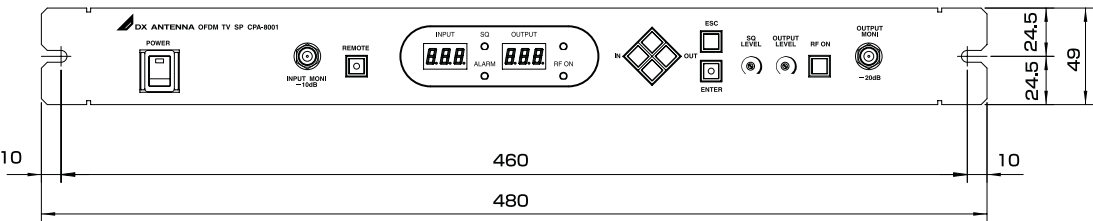
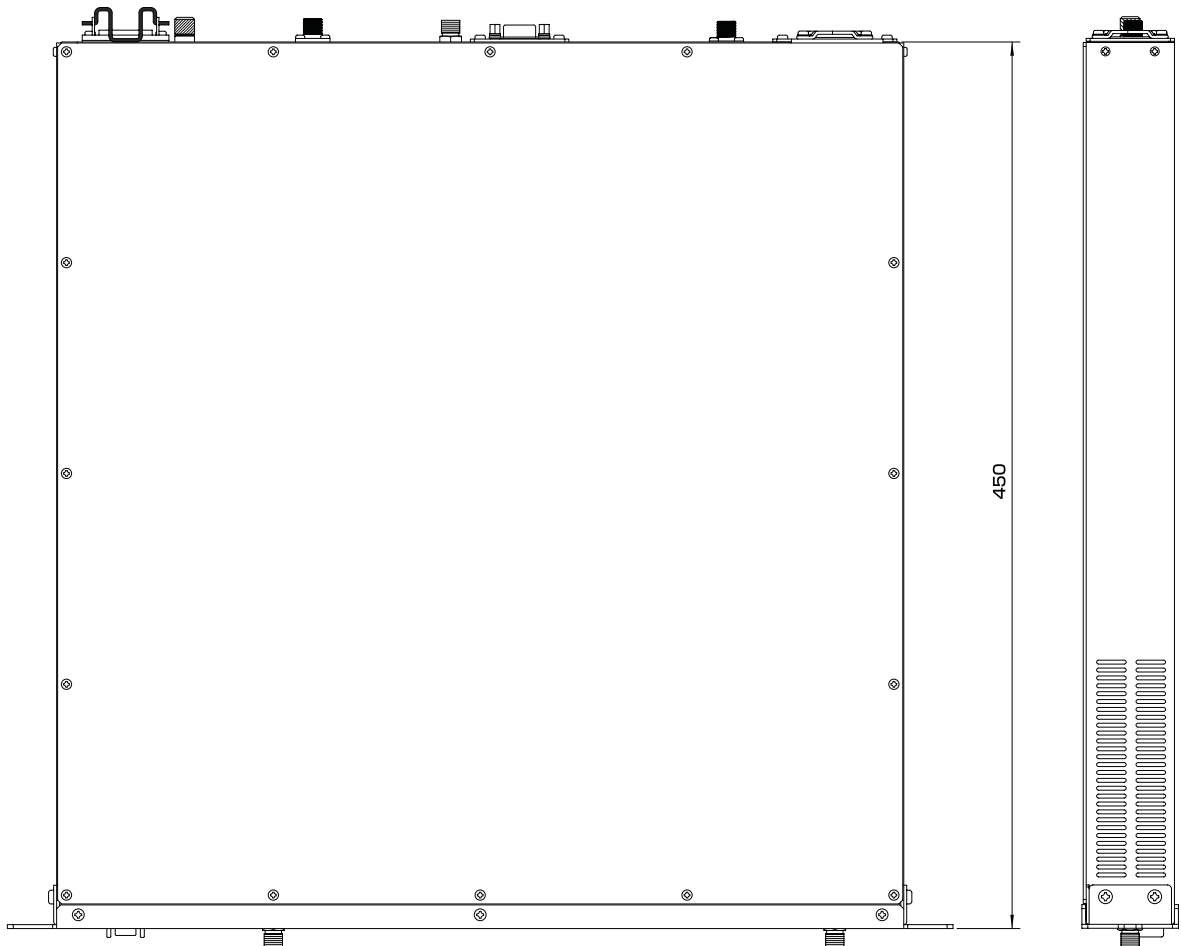
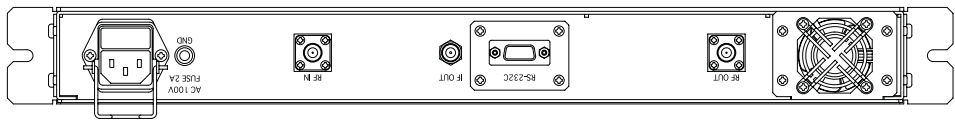
: 突起物を含まず

7.2. ブロックダイアグラム



8. 外觀圖

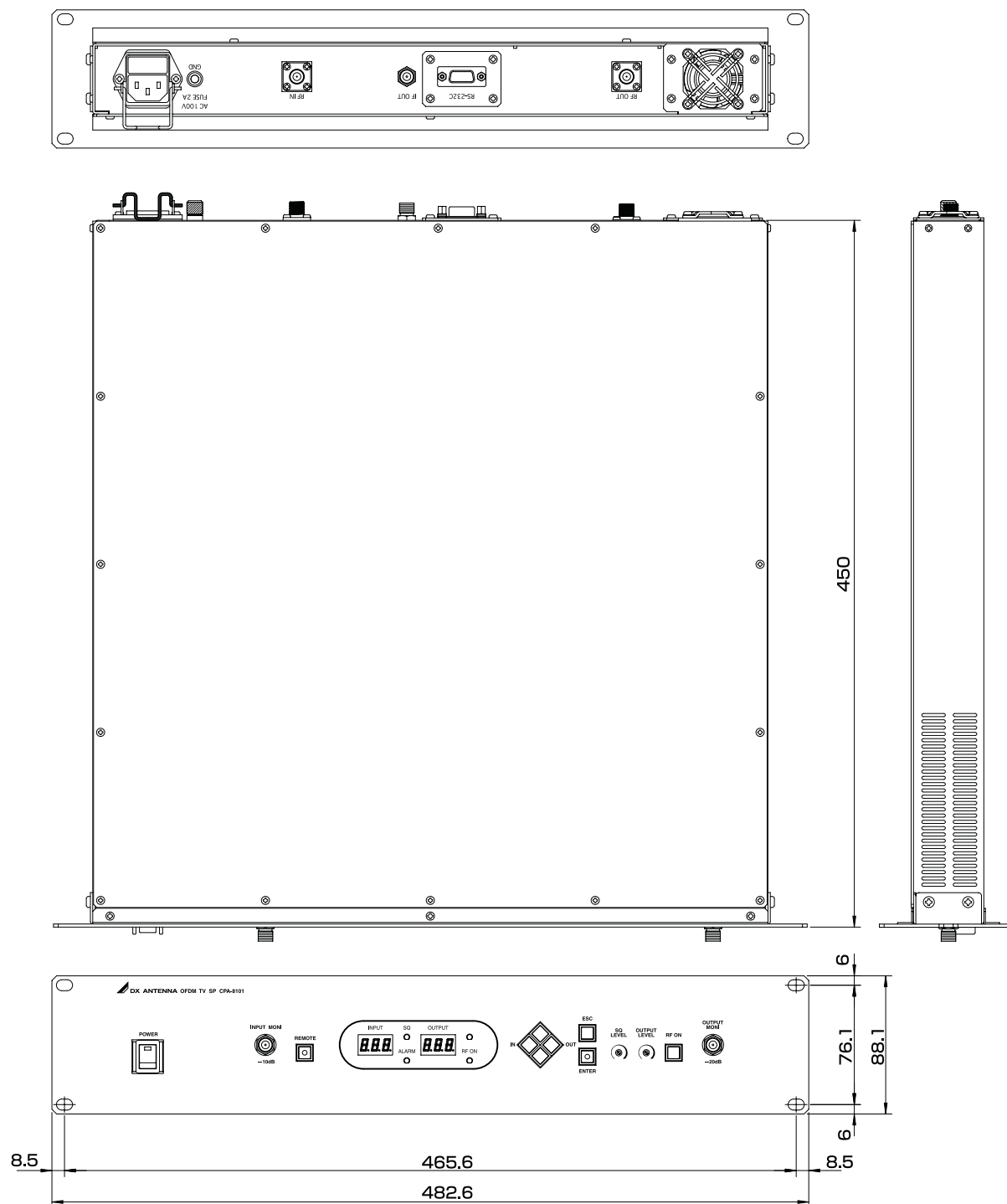
8.1. CPA - 8 0 0 1 (J I S)



(単位 : mm)

CPA - 8 0 0 1 (J I S)

8.2. CPA - 8101 (EIA)



(単位 : mm)

CPA - 8101 (EIA)

9. 参考（OFDM信号レベルの測定）

（1）電力測定機能を用いた測定法（推奨）

スペクトラムアナライザの設定

中心周波数：通常テレビチャンネルの中心周波数 + 1 / 7 MHz

SPAN : 10MHz

RBW : 30kHz

VBW : 300kHz (RBWの10倍以上)

検波モード：Sample (30回以上)

測定帯域幅：5.6MHz (チャンネルパワー測定の帯域幅)

とし、搬送波平均値レベルを測定してください。(単位：dBμV)

（2）dBμV $\sqrt{\text{Hz}}$ 測定値から換算する方法

スペクトラムアナライザの設定

中心周波数：通常テレビチャンネルの中心周波数 + 1 / 7 MHz

SPAN : 10MHz

RBW : 100kHz

VBW : 1kHz

検波モード：Sample (30回以上)

帯域補正 : +67.5dB (= 10 log(5.6 × 10⁶))

とし、平均値表示されたOFDM帯域の信号レベル (dBμV $\sqrt{\text{Hz}}$) と帯域補正值からOFDM搬送波平均値レベルを計算してください。

OFDM搬送波平均値レベル (dBμV) = 測定値 (dBμV $\sqrt{\text{Hz}}$) + 67.5dB

測定はOFDM信号の中心周波数もしくはOFDM搬送波の平均値レベルとなるポイントで行なってください。

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001 (代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327 (代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>